

◇ハンディスペアナを使った、アクセスポイント設置前のサイトサーベイ(無線LAN)

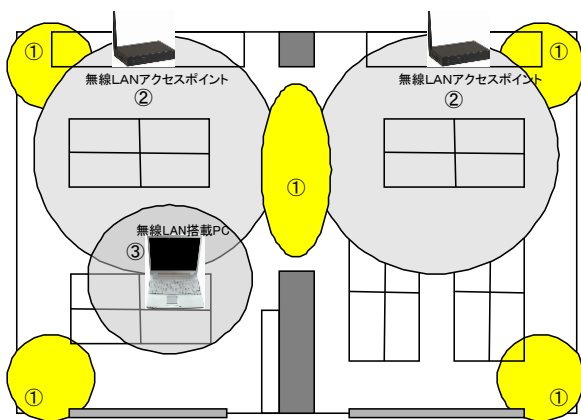
[アプリケーション ~*Application*~]

アクセスポイントを設置する際、無線LANカードが搭載されたPCと調査用フリーソフトウェアを使って、無線LANのRSSIやSSIDを確認することができます。

但し、無線LAN通信干渉の原因となりうる、電子レンジ、コードレス電話、溶接機などから発信される電波は観測することはできません。スペクトラムアナライザを使用することで、無線LAN機器とそれ以外の機器が使用している電波を区別できます。観測されたデータを元に適切な場所に無線LAN通信機器を配置し、チャンネルを設定することができます。

当社のハンディスペアナは非常に安価でありながら、2.4GHz帯および5GHz帯の無線LANの周波数帯域をはじめ、50kHz~8.5GHzまで広範囲に亘って周辺の電波状況を測定できます。さらに、小型・軽量・バッテリー駆動も可能ですので、屋内外でのアクセスポイントのエリア確認や通信機器設置後のトラブルシューティングに効果を発揮します。

[ソリューション ~*Solution*~]

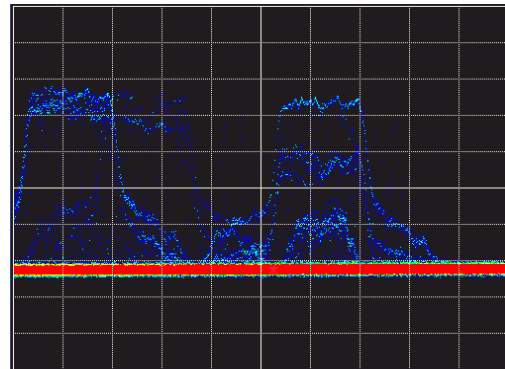
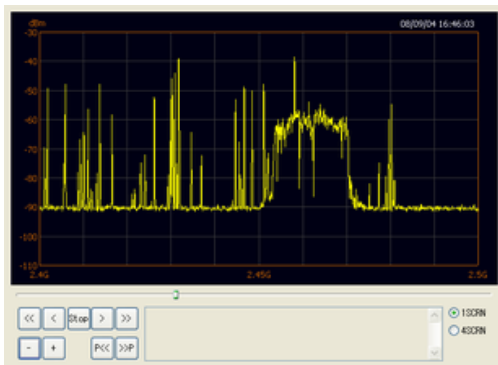


- ① 電波不感地帯
- ② アクセスポイント電波到達エリア
- ③ WLAN搭載PC電波到達エリア



ハンディ型スペクトラムアナライザ
MSA400 series

■ アクセスポイント設置前後や通信トラブルの際、フロア内の電波状況を測定します。



■ ログイングソフトウェアMAS410を使用することで、測定画面を時間軸で長時間に亘り記録できます。(左側図)

また、スペクトラムアナライザ本体のFuction Calculation Over Write機能を使うことで、各ch別帯の使用状況を把握できます。(右側図)

[システム構成 ~*System constitution*~]

・機器構成 【5GHz帯、2.4GHz帯】

- スペアナ (MSA458)
 - バッテリー (MB400)
 - 制御用PCソフト (MAS400)
 - ログイングソフト (MAS410)
 - 2.4GHz帯アンテナ (M404)
 - 5GHz帯アンテナ (M406)
- 生産完了品

・機器構成 【2.4GHz帯】

- スペアナ (MSA438)
- バッテリー (MB400)
- 制御用PCソフト (MAS400)
- ログイングソフト (MAS410)
- 2.4GHz帯アンテナ (M404)